

まほろば【校長室だより】

[文責]

校長 江口 尋信

天満宮幼稚園、保育所太宰府園の年長さんと交流しました

太宰府小学校は本年度、幼児教育（幼稚園・保育園での教育）と小学校教育のスムーズな接続について太宰府市教育委員会の指定を受け研究を行っています。この研究の主なねらいは、幼児教育と小学校教育の段差をなくし、効果的な連携を図ることです。「小1プロブレム」という言葉をお聞きになったことがありますか。「小1プロブレム」とは、幼稚園・保育園から小学校への生活・学習環境の変化により、入学した1年生が教室で落ち着けない、学習できない等、なかなか適応できないことを指します。この研究によって「小1プロブレム」を軽減し、幼稚園・保育園で育ててきた力を小学校でうまく引継ぎ、さらに伸ばしていきたいと考えています。

研究のパートナーとして太宰府天満宮幼稚園さんと保育所太宰府園さんに協力していただくことになりました。7月2日（木）には、研究の一環として、天満宮幼稚園・太宰府園の年長さんと本校1・2年生の交流会を行いました。交流会の具体的な内容ですが、「とびうめ発表会」で保護者の皆さんに披露した呼びかけと歌を年長組さんたちに聴いていただきました。

広い体育館に入ってきた天満宮幼稚園・太宰府園の子どもたちは緊張気味でしたが、落ち着いて座り、立派な態度で1・2年生の歌を聴いてくれました。歌を聴いた後には、「上手でした。」「すごかったです。」と、頑張って感想を発表してくれました。幼稚園・保育園の先生方も1・2年生の発表を大変褒めてくださいました。褒められた1・2年生は大満足の様子でした。会の終わりには、いっしょに記念撮影を行い、手を振りながらまた会おうという約束をして会を閉じました。



天満宮幼稚園、保育所太宰府園の
年長さんとの記念撮影

幼稚園・保育園の子どもたちは、短い時間でしたが、小学校の雰囲気になれることができたのではないかと思います。また、小学生は年長さんたちと接することで自分たちの成長を感じることができました。今後は、行事や学習で再度交流したり、双方の職員による訪問・参観をしたり、合同で職員研修を行ったりして、幼児教育と小学校教育の連続・発展について研究を進めていきたいと考えています。